

令和7年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	海田町立海田東小学校	対象となる主な学年	1～6年
取組事例名	「縦割り班活動」(東小まつり)		

◆ 児童の実態及び取組を通して育てたい児童像	
児童の実態	取組を通して育てたい児童像
本校は、全校児童 550 名弱の中規模校である。長年地元に住居している家庭は少なく、家庭同士、親同士の交流も少ないため、児童同士のつながりも希薄である。そのため、他学年の児童とのつながりを深め、安全に登校できるようにするため、登校は、登校班で登校しているが、日常的には、他学年との交流が少ない。	児童委員会が中心となり、「遠足(1年生を迎える会)」や「東小まつり」などを企画し、6年生を中心に縦割り班で活動することにより、友達同士の絆を深め、思い出を共有するなど、自己存在感を高めていく。また、縦割り班活動において異学年との交流を行うことにより、低学年への思いやりや高学年への尊敬の気持ちを抱く態度を育てていく。

◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい

本校の児童会活動の中心的な取組である「縦割り班活動」において、最高学年のリーダーを中心に、異年齢の児童同士が協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立てて役割を分担して運営することにより、自主的、実践的に取り組もうとする態度を育てていく。

取組の流れ・創意工夫・児童の変容等

- 1 たてわり班作成の方法
- 各学年・学級を赤・黄・紫・青・緑・白の6グループに分け、さらに各グループを6チームに分ける。
 - 各班のリーダーは6年生とし、兄弟関係や同じ班にしない方がよい児童を担任で調整する。

組	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1組	赤、黄	緑、白	紫、青	緑、白	紫、青	赤、黄
2組	紫、青	赤、黄	緑、白	赤、黄	緑、白	紫、青
3組	緑、白	紫、青	赤、黄	紫、青	赤、黄	緑、白

- 2 「東小まつり」の取組(ねらい)

全児童が参加することを通して、異学年との交流を行い、お互いに思いやりや尊敬の気持ちを抱く態度を育てる。

- テーマ 「にこにこ笑顔 安全第一 東っ子」
「東小まつり」のねらいを達成するために各学級からテーマを募集し、ケガをしないで楽しんでほしいとの願いから設定した。
- 内容
縦割り班に分かれて手作りのゲームコーナーを楽しむ。
スタンプラリーカードを持参し、学校内に開設した各コーナーを回り、ゲーム体験後は、各コーナーでスタンプを押してもらう。
- ゲームコーナーの設定の工夫
 - ・だれもが簡単に、何度でも楽しめ、準備が簡単なもの
 - ・可能な限りリサイクルできるものを利用し、待ち時間が長くないようなルールなどを工夫し、ごみを出さないようなもの



異学年の交流を意図し、各班で一緒に交流できる内容を工夫したことで、他学年の動きや良さに気付くなどの成長がみられた。

- 事後の指導
本行事を終えた後、自分自身を見つめ直し成長できたこと、縦割り班としてがんばったこと、他学年の友達のよいところなどを「いいところ見つけ」に書く。それを、学年掲示、全校掲示、校内放送などで発信し、互いに認め合う機会を創生した。
- 児童の反応
 - (4年) 6年生の指示を聞いてみんなが自分の役わりができてよかったと思います。
 - (5年) みんなが全力で活動をして、ニコニコ笑顔で楽しめた。来年は、自分たちの最後の「東小まつり」なので、もっとニコニコ笑顔になれるようがんばりたいです。
 - (6年) 5年生は、6年生が準備をしているときに低学年にわからないことを教えてあげたりして私たちのサポートをしてくれてよかったです。

◆ 成果(○)と課題及び今後に向けて(●)

- 「縦割り班」で活動をすることで、異学年との交流が進み、児童が自主的に活動できる場ができるとともに、6年生自身の責任感が生まれ、他学年でお互いの良さに気付けるようになった。
- 全校児童を36班に分けるため、教職員の分担や指導が難しくなる場合があったので、班の数の調整を検討していく。